

## 1 事業内容

団体名	釧路アイヌの語の会
事業名	釧路アイヌ文化情報発信支援事業
課題テーマ	地域を担う人材育成
事業目的	今後の釧路市のあるべき姿を考えると、「アイヌ文化を支えるマチ」として、釧路独自のアイヌ文化の魅力を内外に発信することが求められます。そのために、次世代の担い手や専門的な人材の育成が不可欠であり、彼らが活躍できる場をすることにより、アイヌ文化の振興を図ることが重要だと考えます。
事業内容	<p>1. 市の公共施設を使ったアイヌ文化の体験講座 夏は親子を対象に、動物園でアイヌと動物との関わりを学び、冬は一般客を対象に、博物館の展示を見ながら、クマと狩猟についてのアイヌの知恵を学ぶガイドツアーを実施し、専門的なガイド育成の場としました。</p> <p>2. 公開講座「釧路のアイヌ文化の魅力を探る」を開催。釧路アイヌの山本多助エカシについて、ご子孫でもある廣野洋さんに講演、また道東のアイヌ文化について、大野徹人氏にお話いただきました。トンコリ演奏もあり、会場は満席の盛況でした。</p>
事業展開	ガイドツアーは今後も開催したいと思っておりますが、スタッフの事情を考え併せつつ、今後の継続を考えたいと思っております。一方、公開講座については、2026年度が設立30周年にあたるため、道東のアイヌ文化を学び、広めるための公開講座のシリーズ化やアイヌ関連団体との共催なども考えています。
成果目標の達成状況	動物園ツアーは親子11人、博物館ツアーは15人が参加。新聞各紙に掲載され、反響は大きなものがありました。公開講座75人が参加するなど、感想は上々でした。
波及効果の達成状況	予算の関係で「釧路のアイヌ文化体験ガイド」の作成はできませんでしたが、希望する声が上がってくれば、小冊子の製作は実現したいと思っております。
実施体制	釧路アイヌ語の会及び釧路アイヌ文化懇話会の会員から実行委員会を組織。延べ20人のメンバーで実施しました。
連携した市担当課	有（釧路市動物園、釧路市立博物館）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	事業内容1)について、場所の提供及びアドバイスをいただきました。

## 2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	100,000	
自己資金	17,076	講師代とスタッフ飲み物代ほか
合計	117,076	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
謝礼	10,000	講師料(公開講座)
消耗品費	12,085	文具、救急用品、備品など
印刷製本代	32,384	ポスター・チラシ、資料コピー
役務費	4,020	郵送代、製作ソフト
使用料・貸借料	26,805	動物園、博物館入館料
旅費	20,000	講師などガソリン代
小計	105,294	
対象外経費		
講師料	10,000	
スタッフ飲食代	1,782	
小計	11,782	
合計	117,076	